

孔子一代記

利

特別

又9

1956

3



又 9
1956
3

大聖傳卷之四

博取
秘記

大聖傳

斯魯魯の季康子ハ孔子と用と欲して公華公
 宿公林の三人と使者として幣して孔子と
 幣するると云ハ厚く財物と云え礼儀
 正しく迎ふふと云ハ。於是孔子魯と云ッ
 允十中羊ふして再び魯國へ之るま時
 魯の哀公十一年孔子六十八歳あり。哀公孔子
 政と云ふ孔子政ハはと云ふふと云ふと云
 又他日。季康子政と云ふ孔子曰直也
 と云フ。諸の枉と云ふときハ則枉りの直

大聖傳

と曰。其言、直き良辰とあげ用ひく。枉る
 倭辰とのぞく時を自枉る者も亦くや。政
 行はく民を其法度と懐ひ。上下和合し國
 家治るものなり。康子、孔子と召ども魯の君
 孔子と用ふるあり。大夫等も孔子をさ
 ぐり君と輔佐し。國を治る者も孔子
 ら又年老むひく仕官せしめあふ立意なく。朝
 庭と辭し退り家子居まふ。是時、周の世も
 まよ及びく。文王、武王の子孫ある周代天子も
 徳衰えくやあり。古の堯帝、舜帝、禹の



礼樂詩書廢缺く用る者あり。孔子萬
 年の後、礼樂のなくんを患ひまじ。夏、殷、周、三代
 の礼、成、迹、書、傳、と序し、上、唐の世、虞の世、
 際、下、秦の世、至、不、な、れ、り、と、編、次、す、
 往、古、
 詩、三十餘篇あり。孔子其重みりと去り。礼義
 を挽きとぶと取りまふ。凡三百五篇あり。孔子晚
 年、及、く、初、く、易、經、を、得、ま、ふ。易と讀まふ
 日夜、易、經、の、韋、編、三、度、絶、く、り、
 往、古、ハ、竹、を、以、り、韋、編、を、編、み、
 字、を、刻、て、書、と、
 不、せ、り、
 孔子の讀まひ、易、經、を、彼、竹、簡

るねハ亟あま闕くわのひ一故ゆゑ子編あめ章ちやう三度絶きふとてとぞ。
 孔子易と讀よみ周天地萬物あまねきものの情なさけ一とて通とほ一
 玉たまハとるると好このく。於是後世このちのつめ子易の傳つたと作つくり
 る。今の易經よみるとる。孔子詩書しよ礼樂れいとてとて諸しよ
 君子しよハ教おしえをふ。蓋ま君子三十人あり。身みハ藝げい
 一と通とほ達たつとてと者もの七十二人子及びおよびとるとれり。
 六藝ろくげいとてと礼樂れい謝しや御書ご數すうの六むとて孔子常つと
 子しよ文ぶん行かう忠信ちゆうしんの四しよとてとて教おしえをふ。慎しんとてとて
 旅りよ戰せん疾やく此三このとてとて德とくの修とむとる。學がくの講かう
 ざると義ぎと聞きく徒たとてと能あたらず不ふ善ぜんと改かとて

めハざる。是吾われハ憂うれふとると白ます。孔子ハ此四このとて憂うれ
 一と慎しんとてと故ゆゑ子其憂このとてとるとなり。子貢
 曰い夫子このの文章ぶんちやうちとと得とると。夫子ハ
 天道てんたうとと性命せいめいととハとと得とると。孔子
 の文章ぶんちやうとてと玉たまとてとすと其義理ぎりとてとて
 づとと。性命せいめいハ人ひととてと受うくと生なむとると慶けい
 天道てんたうハ時ときとてととと變化へんかとてとととの故ゆゑとて
 其理そのとて得とるととと然しかるととと魯ろ
 の哀あ公十四年こうじよしよねんの春はる魯ろの都みやこの西にしの方かた大
 野のとてと狩かりとてと出いでとると。大夫たいふ叔孫しよそん氏の微み

者。但高。と云者麟と獲又も。麒麟八節
 に出る。獸あり。故子魯人らわと知ざれや。
 不祥なり。て虞人子賜をたむ。虞人ハ
 山澤と掌る。役と云。特子孔子をわと觀
 せしむ。わわが麟なり。曰く。魯人初て
 麟をみる。と知る。名もわ。又或書ハ。叔
 孫氏狩と云。時。樵夫奇。獸と云。又
 詠人。わわ識者。うりて。魯の都五父の
 衢。一。孔子以。童子。冉有。來。孔
 子。つひ。鹿の形。わ。角の上。肉

の。物あり。天の災と云。と問。孔子自
 づ。わ。わと視。し。と云。夫麟
 ハ。麋の身。わ。て。尾ハ。牛の如。腹の下。黄
 一。角。わ。て。角の端。肉あり。遊。必。地。え
 り。生。土と履。草の主。踐。踏。
 一。羅網。わ。ら。王。る。り。至。
 仁。時。山。野。出。ま。仁の獸あり。
 とも。ら。牡と麒。と。牡と麟。孔子。麟の
 む。死。及。吾。道。窮。と。曰。
 孔子ハ。聖人あり。天下の諸侯。と用。

國家と治る者より故に孔子終身志と
 得玉にあらざる。又今麟出ず踐者の手死す。
 天孔子の歿し玉と告ぐるの證多し。故に
 歎く。君子ハ世に没す。名稱
 病吾道不行何と以て後世に
 人ヤと曰て魯國の記録より春秋と作
 上。隱公より下。哀公十四年
 訖る。凡て十二公二百四十二年の中なり。其
 文辭約して指博し。故に吳國楚國の
 居勢ハ強くして自王と稱しつゝ春秋の

ことと敗て子と曰フ。又魯國の僖公二十八年踐
 上して云如の會も實ハ周の天子を召して
 衰る。道の不行と諱。故に春秋に天王河陽
 狩りて此類と推て以て當世
 と繩し。善とあけ悪とあらしめておいて
 必くこれをこれを知るべし。春秋ハ
 勸善懲惡のしるしを書く。故に春秋の義
 行る時ハ天下の亂臣賊子懼るべしといふ。
 孔子曰立と知る者も春秋と以てせん。立と

罪つひする者も又春秋と云くさんと孔子仁義礼
 智信の五常と云く春秋と作りし故に孔子
 子の徳と知てこれと善する此書と以て又
 其父子と云く過ありて孔子と罪する此書と
 以てするはさるべしと云く叔哀公十五年子至
 子路衛の困ありて死を始衛の上大夫
 孔文子衛の靈公の女と云く太子蒯聵の嬖を
 伯姫と云く娶り男子と生る名と怪と云く爰不
 又孔文子子仕豎子子彈良夫と云く者ありし
 生長する及く容貌と云く美なりと云く此

者孔文子卒て後其妻伯姫と密に通し居け
 るふ或時伯姫渾良夫と弟蒯聵を以て使
此蒯聵ハ衛の地戚と云く如く見ゆ 蒯聵渾良夫と言ひ
 序つひするは衛の君輒と云く去りて輒ハ則我と
 衛の君と云くは汝と大夫と云く一冕と服と
 ぬ軒ハ子乗と云く人冕ハ大夫の冠又死罪する
軒ハ大夫の事 三度ハゆるるべしと云く
 渾良夫と云くを以て固此密と云くを以て
 後渾良夫伯姫と講て出公と云く逐と云く志
 されしを以てさるる其子怪と云く師

大聖徳四

二六

と起させ伯姫が生る。惺父。孔文子卒して。後父の代つて大夫となり居る。出公と伐て
 困と逐人と謀り。まが密に蒯聵と伯姫が
 家に入強く。孔惺。此子と盟せ。師と出して
 蒯聵。とふ。出公と伐つ。出公。不勝して大夫
 の召獲。とて魯國へ出奔せり。此時子路ハ
 孔惺が領地。宰より。此亂とす。出公の
 城へ奔来り。城門に入ると急る。衛の大夫
 子羔。と云者。此亂と懼。衛と出奔せんと
 欲し。城内のぐれ出づるが。子路が来ると
 見く。急る。城門已に閉り。亂よりて

難難より人々も速に去りて身と逃れ
 多くとす。子路。其祿と食して。人々其
 難と辟や。とて城門より入り。閉り入る
 能はず。斯く城内より使者の出る。城
 門を開。左や。右や。子路。城内に奔入。大子
 蒯聵が臺上。に在り。急る。臺と燔とす。
 多。蒯聵。大小懼。石乞。孟。厭。と云。え
 の大夫と臺より下り。士卒とも。子路と
 防ぎ戦。ハ。子路。猛勇。とい。一人
 して多勢。敵。難く。遂に討死

とんととるふ及く冠の纓断（纓女ハ討
の緒（ひも）なり。子路此亂とす早速（はやすみ）に奔来
里（さと）一（ひと）衣（え）常（つね）の服と冠（かん）とを（と）る（と）り（と）る（と）こ
時（とき）子路君子ハ死（し）せんとす（と）る（と）ふ冠（かん）と不免（めん）とす
く冠（かん）と正（ただ）しく（し）ぎ。纓（えい）と結（むす）んで死（し）し（と）る（と）なり。
子路ハ孔子弟子の中（ちゆう）て勇（ゆう）ある者（もの）なり。
今死（し）する（と）臨（りん）む（と）如此（このごと）礼（れい）とて（と）て（と）ざる（と）。誠（まこと）
豪傑（ごうかく）なりとて人皆（ひとみな）子路（しろう）が戦死（せんし）と惜（おぼ）る（と）不
く（と）なり。然（しか）る（と）る（と）ふ孔子ハ魯（ろ）に在（あ）り衛（ゑい）の國
より孔惺（こうせい）、渾良夫（こんらふ）が太子。蒯聵（くわいご）と（と）る（と）なり。

衛公と逐（お）る（と）困亂（こんらん）とす（と）ま（と）き（と）丑（みに）ひ（と）柴（さい）や其（その）
来（き）不（ふ）由（ゆ）や死（し）人（にん）と曰（い）はる（と）。柴（さい）とハ衛（ゑい）の大夫（たいふ）高子（こうし）
羔（か）の名（な）あり来（き）るとハ其亂（そのらん）と懼（おそ）し。必魯國（ろこく）ハ逃（に）
去（し）人（にん）と（と）なり。由（ゆ）とハ子路（しろう）が名（な）なり。死（し）人（にん）とハ子
路（しろう）義（ぎ）あり勇（ゆう）ある者（もの）故（ゆ）に不義（ふぎ）の君子（くんし）不仕（ふし）
必討死（ひたうし）する（と）なり。人（にん）と（と）る（と）なり。其言（そのこと）とハ
今果（いま）て子路（しろう）ハ討死（たうし）とす。子羔（しこう）ハ逃（に）て魯（ろ）
國（こく）へ来（き）り（と）る（と）なり。

大聖傳卷之四終

孔子一世大聖畫傳卷之中

目錄

- 孔子墳羊聰圖
- 孔子夾谷會平夷圖
- 孔子見防氏推骨圖
- 孔子見黃口雀圖
- 魯定公受齊女樂圖
- 孔子勸學圖
- 孔子聽訟圖

孔子墳羊聰圖



六經傳



孔子見防風氏推骨圖

六經傳





魯定公

魯定公受女齊樂圖



魯定公



六聖傳

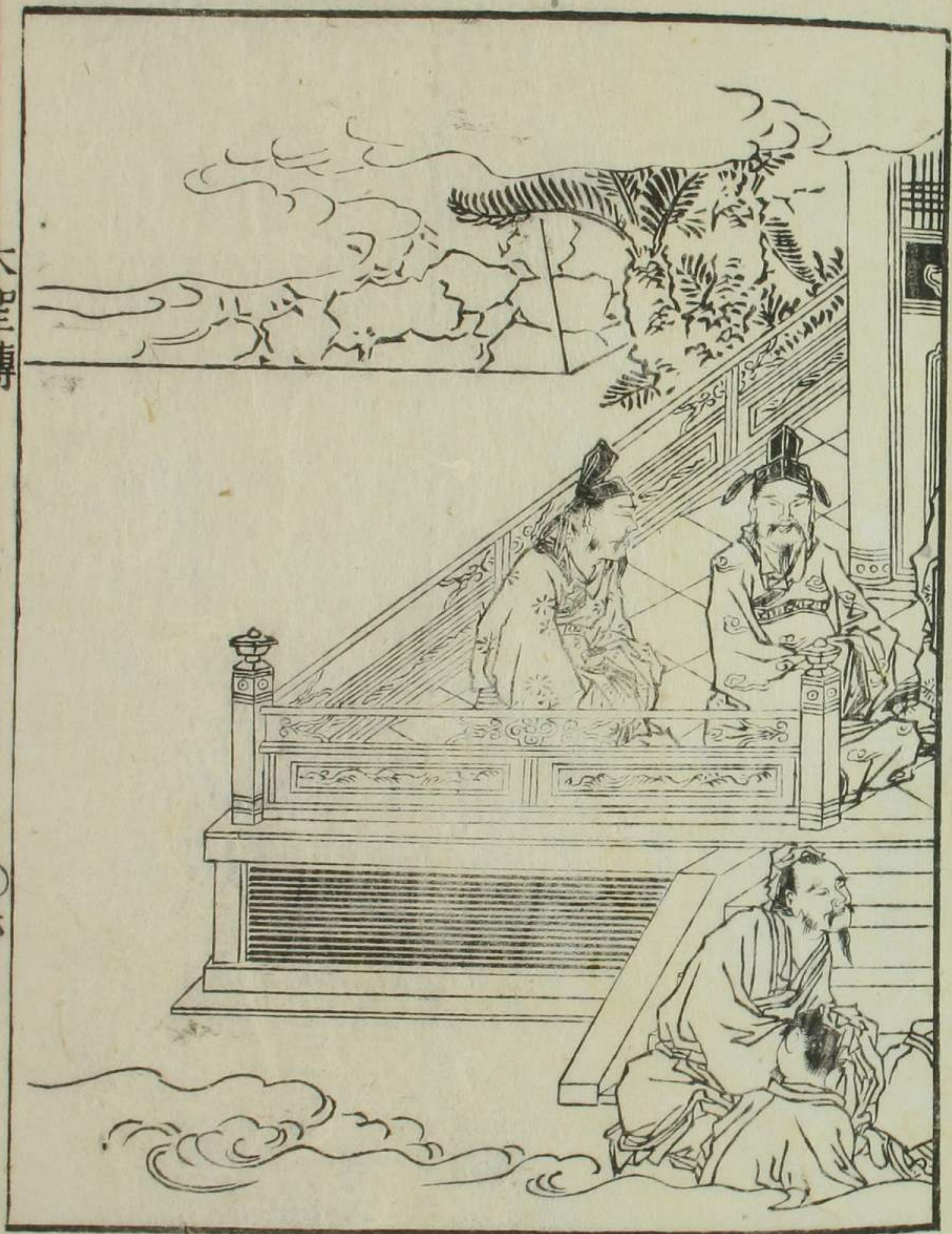
五



孔子
子
勒
學
圖

六聖傳

四



孔子

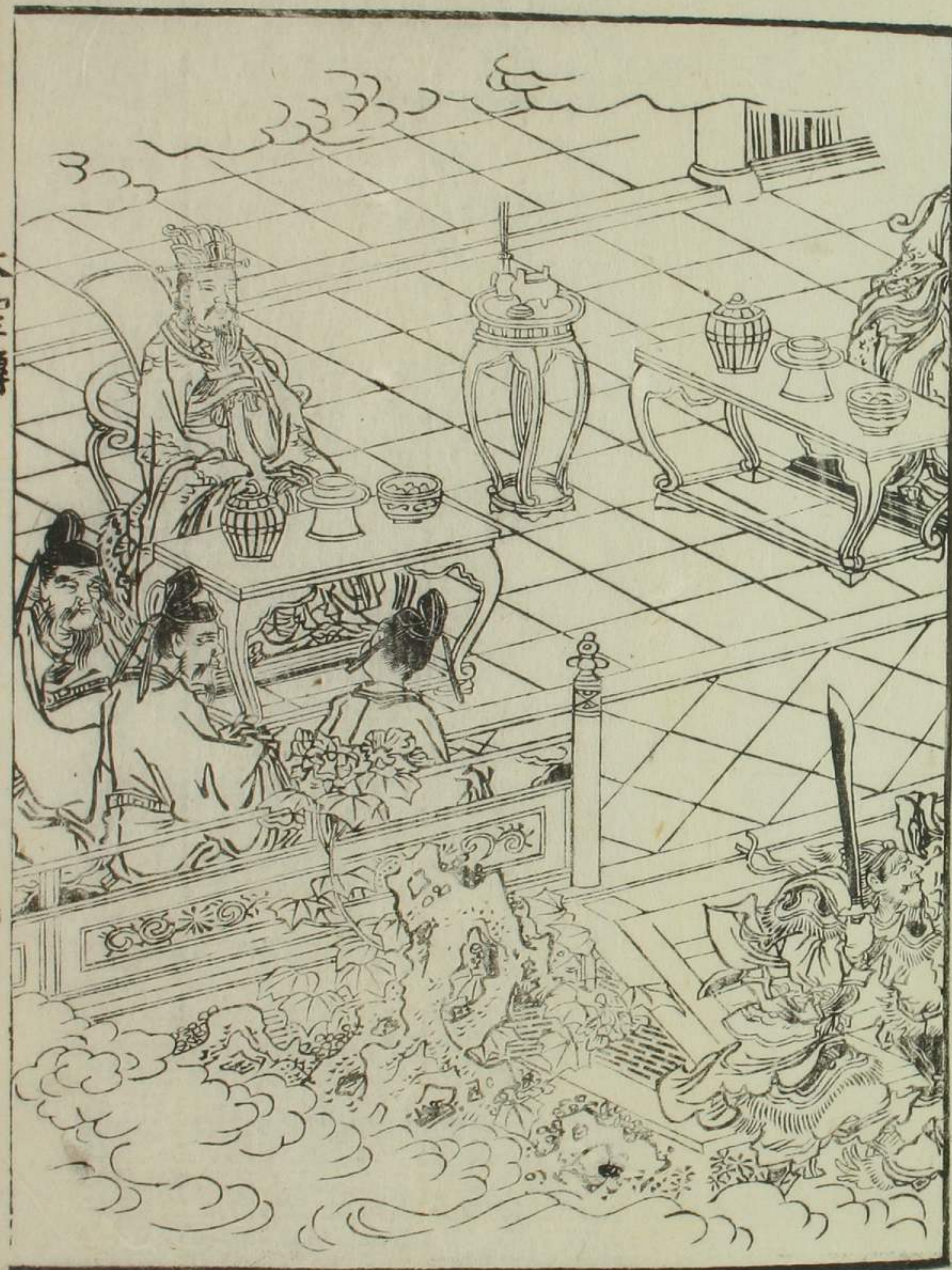
子



孔子聞訟圖

孔子

子



九聖傳



孔子夾谷會平夷圖

九聖傳

六

孔子見黃口雀



九聖傳

